

谷中小の子供がよりよく伸びるために 保護者のみなさまへのお願い

ご家庭において**あいさつ、外遊び、読書**の推進にご協力を。

1. 自主的に家庭学習をさせる。本を読ませる。

◎ 10分×学年（めやす）もちろんこれ以上やってもかまいません。

1年：10分 2年：20分 3年：30分

4年：40分 5年：50分 6年：1時間

1年・2年 200冊 3年・4年5000ページ 5年・6年7000ページ

学年に応じた本の内容で。高学年は自主学習の習慣を。

2. 挨拶・返事をしっかりさせる。人を傷つける言葉・乱暴な言葉を使わせない。

高学年は敬語が使えるようにする。

（礼節は自然に身に付きませぬ。躰で身に付きます。自分から先に元気よく）

「おはようございます」「いただきます」「ごちそうさま」「行ってきます」

「ただいま」「こんにちは」「ありがとう」「ごめんなさい」「はい」

日常生活の中で人を傷つける言葉や乱暴な言葉を使用しているときはすかさず注意してください。

☆ 丁寧な言葉を低学年から使えるようにしておくこと、敬語が使えます。

3. 生活習慣を身に付けさせ自立を促す。振り返らせ、見通しをもたせる。

（早寝・早起き・朝ご飯、排便・歯磨き・手洗い・持ち物点検）

◎ 睡眠時間を十分にとらせてください。（体の成長と脳の発達、知識の定着）

起床は、授業の始まる2時間前、少なくとも7時には起きるようにさせてください。

低学年は、9時間～10時間。高学年は8時間～9時間。

◎ 朝食をしっかりと食べ排便は朝のうちに。（食べないと脳に栄養がいかず働かない）

◎ 8時5分の登校時間を目指して家を出してください。

◎ 学習用具・宿題は前日にそろえさせてください。自分でできることは自分でやらせてください。

◎ 持ち物に気を付け、買い与えていないものがあつた時は話を聞き把握してください。

うまくいかなかったときは振り返らせ、次に生かし、見通しをもって行動できるように。

◎ テレビゲームは1時間以内。スマホ・携帯は家族でルールを作って守らせてください。

4. 戸外での運動・遊びを励行させる。

◎ 豊かな遊び経験から人間関係力の向上、情緒や感性の醸成、社会性の伸長。

◎ 楽しく体力向上で、柔軟な思考力や問題解決能力の育成。

5. 決まった手伝いをさせる。

◎ 家庭の一員である自覚。◎感謝の心、奉仕の心、責任感の育成。

☆ お子さんのことで御心配なことがあれば遠慮なく学校に御連絡ください。

谷中小学校 学校経営計画

平成30年度の谷中小学校の教育は、116年の中で築かれた伝統と地域力を基盤に、法令・学習指導要領及び都・台東区教育委員会の教育目標や基本方針に則った教育課程に基づき、以下の学校経営方針を設定します。全職員のチームワークを生かして「学びを夢や希望につなげ、地域とともに歩む」学校を創り上げ、「よく学び、進んで運動し、人のために行動できる谷中の子」を育成します。

本年度の重点[学び合い、思いやり、挨拶・運動]

学校教育目標

- ・よく考え、くふうする子
- ・明るく健康な子
- ・思いやりをもち人の役に立つ子

よく学び 協働して課題解決
自分から挨拶、進んで運動
人のことを考えて行動

平成30年度文部科学省学習指導実践研究協力校

平成30年度・31年度台東区研究協力校

平成30年度東京都オリンピック・パラリンピック教育アワード校

学校経営の基本方針

学力の向上

- ◎基礎的・基本的な事項の確実な定着を図るとともに、自ら学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力を育成する。学ぶ楽しさや成就感を体感させ、生涯学習の基礎を培う。言語能力を高める。
- ◎授業の改善を進め、ICTを活用して主体的・対話的で深い学びを構築する。
- ◎児童一人一人の学力向上のため、個への対応に力を入れるとともに家庭学習習慣の定着を図る。

豊かな人間性の育成

- ◎自他共に、大切にする心を培い、望ましい人間関係を築く。
自分から進んで挨拶し、コミュニケーション力を伸ばす。
- ◎人権教育・道徳教育の充実で思いやりの心を育み、特別活動で実践力を育成する。学級活動や学校行事、異学年の交流を通して互いに認め合い、高め合う集団を育てる。
- ◎夢や希望を育むために、キャリア教育を充実する。
- ◎オリンピック・パラリンピック教育を推進する。

健康教育の推進

- ◎進んで運動する子供の育成に努め、授業改善や体育朝会、業間体育、持久走大会の設定で、体力向上を図る。
講師を招聘して技能を高める。
- ◎自らの力で身の安全を確保できる能力・態度を育成し、心身の成長や健康の保持・増進への意識を高める。
- ◎保健指導の充実を図ったり、お弁当の日を設定し食育への関心を高めたりする。

教育環境の整備

- ◎本校の特色・学習や学級活動の様子が見られる掲示や言語能力を高める掲示を工夫する。
- ◎安全に配慮し、心地よく使用しやすい環境に整備する。

連携

- ◎保幼との連携、小中連携により、一貫した教育活動を行う。
- ◎保護者・地域の教育力を活用し、教育活動に生かす。

開かれた学校づくり

- ◎学校公開だけでなくいつでも教育活動を公開する。
- ◎学期ごとの学校評価を実施し改善する。
- ◎外部への情報発信、外部の意見受信を行う。

安全な学校体制

- ◎生活指導目標の徹底を行う。
- ◎毎月の避難訓練、安全点検、安全指導の徹底を図る。
- ◎学校の危機管理体制を作り対応する。

平成30年度 学校経営計画(概要)

台東区立谷中小学校
校長 菅谷 万里子

1. 学校経営の基本的な考え方

- ① 常に新しいことにチャレンジ(学校・学級経営、教科指導)改善
- ② 確かな学力と心の育成(教育活動)
- ③ 教師力向上(教員)

2. 目指す学校像

- ① 児童が行きたい学校
- ② 保護者が行かせたい学校
- ③ 地域と連携して児童を育成する学校

3. 学校経営の基本方針と具体策

〈今年度の重点取組〉

・学級活動や学校行事、集会活動、縦割り班活動で、よりよい人間関係を築き、表現力や社会性・実践力を伸ばしていきます。

・ICTを活用しながら授業を工夫し、主体的・対話的で深い学びを行い児童の関心意欲を高めるとともに、思考力を高め、問題解決力を付けていきます。

・地域の歴史や文化・伝統を生かした魅力ある教育活動を推進します。

・運動への関心や能力を高めたり、国際理解や外国語活動を進めたいします。(オリンピック・パラリンピック推進教育・アメリカとの交流)

(1) 学力の向上

○基礎学力の定着

- ・「朝の時間」「水曜放課後教室」「夏季教室」を利用し、漢字・計算を計画的に指導する。学校独自の効果測定、東京ベーシックドリルで基礎学力の定着を図る。家庭学習を推進する。(高学年は自ら進める。)
- ・「読書活動」の充実。読書月間・旬間の設定。読書量を増やし、語彙や知識を増やす。

○思考力・判断力・表現力の伸長

- ・「書く」授業の他ミニ作文、言葉の学習、辞書の活用、音読、古典の暗唱を取り入れ、表現力を高める。
- ・各教科におけるICT授業により、学習への興味や課題意識を高めるとともに情報の収集や適切な活用、比較や関連付け等を行い、思考力や判断力、発信する力を身に付ける。
- ・導入→自力解決→学び合い(協働学習)→発展(学び合いで身に付けた考えで自力解決)→振り返り

○個に応じた指導

- ・算数の習熟度別少人数指導を3年から、理科のTT指導を4年から実施する。
- ・学力向上推進ティーチャーや学生ボランティアの計画的な活用により、指導の充実を図る。

(2) 豊かな人間性の育成

○よりよい人間関係の構築

- ・学級活動において、互いの意見を出し合い、課題解決に向けて話し合い、よりよい学級や人間関係の構築を目指す。
- ・集会活動、異学年交流、幼稚園・地域との交流、学校行事を通して学校全体でもよりよい関係をつくる。

- ・フレンドシップ・サポートプログラムを取り入れた学習を行う。
- ・いじめ防止と早期発見・迅速な対応に努める。1ヶ月に1回のアンケート実施。スクールカウンセラーによる5・6年生の全員面接・他学年のグループ面接等を行う。
- ・挨拶運動の励行。TPOに応じた言葉遣いの指導。
- ・オリンピック・パラリンピック教育を推進し、海外の人に学年に応じて会話ができるようにする。
- ・夢や希望を育むために、地域や保護者の方を講師としたキャリア教育を推進する。

○人権教育・道徳教育の充実

- ・道徳で思いやりや道徳的実践力の育成を図る。
- ・区道徳副読本「こころざし高く」等の活用を図り、社会に貢献しようとする「こころざし」や郷土愛を育てる。
- ・人権メッセージや標語作りに取り組む。

(3) 健康教育・体力向上の推進

○体力向上の推進

- ・体育朝会や業間体育、なわとび、持久走の実施。
- ・体力テストの結果（握力、長前屈）を基に授業改善、指導の重点化を図る。体づくりの運動を授業に組み込む。子供たちが運動の楽しさを味わえるような授業を工夫する。
- ・アスリートを招聘し、楽しみながら技能を身に付けられるようにする。

○保健・食育指導を通し、自分の健康について考える児童の育成

- ・歯磨き強化月間を年間3回設け、指導する。
- ・食育の授業や給食指導、お弁当の日を通して食生活の向上を図る。

(4) 家庭・地域・関係機関との連携

○保護者・地域の人材や特性を生かした特色ある教育活動

- ・総合的な学習の時間、特別活動、各教科で地域の特色を生かした計画を作成する。
- ・地域で活躍している専門家を講師に招いて生きた学習や本物に触れる体験活動を進める。
- ・保護者（地域の方）をゲストティーチャーに迎え、キャリア教育を推進する。

○家庭・地域との連携による安全教育

- ・学校安全ボランティアによる登下校の見守り活動、PTAや関係機関との連携による通学路の安全点検。
- ・地域、PTAと連携してセーフティ教室や交通安全教室、防災教室を実施する。

今年度は、

○特別支援教室「さくら教室」は、今年度も月曜日と木曜日は本校、火曜日は忍岡小学校、水曜日は黒門小学校、金曜日は根岸小学校に巡回指導教員が行き、指導を行います。直接教員と話したい時は月曜日、木曜日に御連絡をお願いします。

○アメリカの小学校との交流が始まります。

その他

○スクールカウンセラーの高野先生は、火曜日。横田先生は 曜りと木曜日に本校に来ています。御相談の予約はなるべく先生がいらっしゃるときにお願いいたします。